

# 「表現の自由」が 奪われた時代を生きて

—北海道生活図画事件の歴史とぼくたちの生活と—

戦前の北海道で、「生活図画」の美術教育を進めた教師やその教え子達が、治安維持法違反容疑で多数検挙された「生活図画事件」。被害者の松本五郎さん（98歳）と菱谷良一さん（97歳）が、北海道から上京し、証言する。

東京美術学校（現・藝大）を卒業後、旭川師範学校で二人に美術を教えた熊田満佐吾。その旭川で熊田の影響の下、生活図画にふれたのち東京美術学校に進み、学徒出陣による繰り上げ卒業後、陸軍で逮捕された島田美成。事件にまきこまれた藝大ゆかりの人々につき、川嶋均（藝大ドイツ語講師）がレポート。被害者らの人生を切り取った写真作品が、2019年、岩波『世界』の巻頭グラビアページを飾った写真家・高橋健太郎（29歳）。「表現の自由」が再び脅かされる今の日本を生きる若い世代は、歴史の証言をどう受けとめ、行動していくのだろう。



島田美成『自画像』（1941年、東京藝術大学美術館蔵）▶



お話／松本五郎さん  
（事件被害者、98歳）



菱谷良一さん  
（事件被害者、97歳）



高橋健太郎  
（写真家）



基調報告／川嶋均  
（東京藝大ドイツ語講師）

日時：2019年5月14日（火）18:30-21:00（開場 18:00）

会場：東京藝術大学 上野キャンパス 音楽学部 5-109 教室

※入場無料、申込不要。藝大生と一般市民のための講座です。

お問い合わせ：kenpou.geidai@gmail.com（川嶋）

主催：東京藝術大学音楽学部 楽理科／後援：日本ペンクラブ  
共催：自由と平和のための東京藝術大学有志の会

